

<ちょこっとコラム⑬>

(教会用語 その③)

「十字架」 Cross

キリスト教の美しいシンボルと映る十字架ですが、それはローマ帝国において反逆者のみを受けるとても残酷な処刑のための道具でした。十字架刑によって即死することではなく、両手両足を釘で木に打ち付けられた状態で、長ければ48時間もの間苦しみを続けた上で息を引き取ったと言われます。キリスト者はその十字架を自分たちの信仰のしるしとしてきました。それは、キリストが自分たちの罪を背負って身代わりとして死に、葬られ、三日目によみがえられて、罪と死に打ち勝ったことを覚えるためです。十字架とは、まさに自分たちの罪によって神様との間にできてしまっていた、大きく深い谷間にかけてられた愛の架け橋なのです。